

2300万円の経費を要していた。

（その他の質問）
○石下駅周辺の開発について

市長の所信表明と市政運営とその後の取り組みについて（一問一答）
中村 安雄 議員

①市役所は最大のサービス産業としたその後について。

②にぎわい再生事業計画とその見直し案は。

質問

にぎわい再生事業について、建物、トイレはつくりたい、イベント広場無料駐車場として使用するということだが、イベントなどは年に何回使うか。にぎわいを戻そうとすれば、一定の建物がある、そこに人が寄り添えるような形をつくって初めて人が集まってくる。建物もトイレもなくすというのでは、人の集まる場所ではない。施設建設に関する請願も出され、5人の議員が署名している。戻せるものだったら、ある程度の建物も戻してやっていただきたい。

答弁（市長）

具体的には、1月から日曜日の市役所開庁、図書館の9時開館を行う。4月に鬼怒川西地区2カ所に公共施設を利用して出張所を開設する。職員の研修については、資質向上のため、マーケティングの研修を行う。

答弁（都市建設部長）

購入した土地の有効利用として、イベント広場、駐車場、災害時の避難場所の三つの位置づけで進めている。事業期間の延長が必要のため、事故繰り越しの準備をしている。また、繰り越しした交付

金の不用額が最小限となるよう、茨城県と調整中である。

質問

返還しなければならぬお金が約6000万円だと思いが、そうなのか。

答弁（都市建設部長）

今回の交付金に充てていた約6600万円が返還になる。

質問

地域の人が皆さんでできるだけのことをやって、市に負担をかけないようにしたいといった考え方もある。わざわざお金を返還せず、ある程度のものでつくってはどうか。

答弁（市長）

私はそもそも土地購入に反対していたが、すでに土地は買われており、何がベストかを考えることしかできない。駐車場イベント広場とする案で見直しを進めている。

質問

地域が衰退した姿では困る。みんなもこのような署名まで持ってきて何とかしたいという気持ちがあるわけだから、考えを変える時は変えて、後で評価されるような市長になるよう、努力をお願いします。

（その他の質問）
○市税収入と固定資産税について



整備中のにぎわい再生事業用地

会派視察
研修で来庁

○山形県鶴岡市議会

平成25年1月22日、山形県鶴岡市議会政友会公開クラブの議員3名が、行政視察のため当市を訪れました。同市議は「フィルムコミッション事業」について、坂野家住宅を視察した後、市役所において事業の概要や実績等の説明を受け、活発な質疑や意見交換が行われました。

○富山県南砺市議会

平成25年1月29日、富山県南砺市議会自民クラブの議員7名が、行政視察のため当市を訪れました。同市議は「中学校希望制」について、制度の概要や現状等の説明を受け、活発な質疑や意見交換が行われました。



南砺市議会



鶴岡市議会